

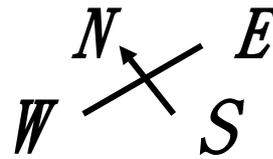
藤 沢

2020年10月1日

第317号

# エコネット

藤沢環境運動市民連絡会  
(略称) 藤沢エコネット



主  
な  
記  
事

- ・気候危機、藤沢は何ができるのか
- ・村岡新駅いらない！ ・野党共闘は
- ・コロナ禍の現状④ ・高砂淳二映像と語り

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: [aoyagipc@jcom.home.ne.jp](mailto:aoyagipc@jcom.home.ne.jp) 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

## 藤沢市はゼロカーボンシティの表明を！！

地球温暖化対策の強化は一刻を争います。地球は岐路に差しかかっています。みなさん！地球が大変ですよ！！気候危機・非常事態です。

今夏、熊本県、鹿児島県などの豪雨では、これまで経験したことがなかった豪雨となり、甚大な被害に遭いました。その特徴は、九州周辺の海面水温が高かったため梅雨前線に向かって、非常に湿った空気が流れ込んだことです。そこへ梅雨前線の北を流れる上空の強い偏西風の蛇行が重なりました。これにより、前線に沿って積乱雲が帯状に発達し、線状降水帯が形成され、そこで集中豪雨となりました。偏西風の蛇行は北極海の氷が融けたことで起きやすくなる（東大大気海洋研、Nature Geoscience,2014/10/26）。この蛇行が異常気象をもたらす重要な要因の一つ（東大先端科学技術研究センターHP）。このように本州付近で梅雨前線が停滞する気象状況になれば、日本列島のどこでも集中豪雨が発生してもおかしくはありません。

一方、昨年9月の19号台風は三浦半島をかすめて千葉県に上陸、甚大な被害をもたらしました。近年、かつて経験したことがない大型台風が頻発し、常態化するようになりました。これまで多くの台風は、発生地点（熱帯～亜熱帯）から日本に近づくにつれて、海面水温が下がり、勢力が衰えました。しかし日本列島周辺の海面水温が高くなったため、最近の台風は勢力を保ったまま日本に接近するようになったからです。その原因は、温室効果ガスの増加による地球温暖化です。このまま温暖化が続けば海面水温上昇は止まらないので、今後も、線状降水帯発生による集中豪雨や大型台風が日本に接近・上陸することは容易に起こりえます。

このような状況の中、昨年9月、壱岐市長は国内最初の「気候非常事態宣言」を行い、10月に鎌倉市議会が続きました。1年後、「ゼロカーボンシティ」を表明した自治体は153と急速に広がっています（9/16現在）。

新型コロナ危機を克服するためには、専門家が同席し、その知見に基づいて対策を立て行動することが必須になっています。これと同様に小泉環境大臣の記者会見でも国立環境研などの専門家が同席し、その知見を基に温暖化対策を強化することが求められます。

気候危機は待ってくれません。一刻を争います。災害が発生し、市民生活に多大な被害が出てからでは遅いのです。コロナ禍の中で高齢者と未来に生きる子や孫の命を守るために「ゼロカーボンの表明」と「気候非常事態宣言」は防災対策を強化するためにも不可欠です。今だけを考えるのではなく、30年、50年先を考えましょう。

(気候危機アクション藤沢 宮地俊作)



小田急線片瀬江ノ島駅が新オープン

## 高砂淳仁さんの映像と語りを見て

～圧倒された美しさと同時に  
人間による自然破壊の恐ろしさ～

コロナ感染症の予防のために stay home を続けてきてしばらくぶりの公の会場で、映像と語りの夢のようなひと時を過ごすことができました。

画面から水しぶきをまきちらしながら飛び出してくるかと思われるクジラ、思わず抱きしめたくなるタテゴトアザラシの赤ちゃん、見ている私たちが雷に打たれるかと思うような夜空を切り裂く稲光、幻想的に夜空を彩る光のショーともいべきオーロラなど本当に様々な自然界の現象や動物たちが大きなスクリーンに次々映し出され、高砂さんの巧みな解説と共に私たちは異次元の世界に誘い込まれてしまいました。またその地に住む人々によって代々伝承されてきた物語、特に超自然現象に宿ると信じられてきた神々の存在も納得させるに十分な映像でした。



氷上のアザラシ

一方で、決定的瞬間の映像撮影のために、極寒の地や焦熱地獄の地にへばりついて撮影し続けることの厳しさを思うと、私たちが心地良い環境で世界の絶景をうっとりとして観賞することが申し訳ないようにも思いました。

温暖化による氷河や永久凍土の融解、海水温の上昇によるサンゴの壊滅的状況、プラスチックごみによる海の汚染等、人間がもたらした自然破壊の結果も突き付けられ、言葉もありませんでした。世界の絶景を居ながらにしてみることができた一方で、自然破壊に手を染めている自分たちの暮らしを深く見つめなおすきっかけにもなりました

このコロナ禍をもたらしたのは、経済効率優先を求め人間による自然破壊が原因だともいわれています。世界では既知の生物種のおよそ 4 分の 1 が絶滅の危機に直面していることも明らかになっています。人間だけのものではない地球が、人間のおごりで破壊されていく姿に私たちはもっと自覚的に目を向け、次世代のためにも美しい地球の姿をこれからも持続させていくことが私たちに課せられていると強く思いました。

(島田啓子)

市民講座 **気候危機は待たなし!**  
～藤沢は何ができるのか～

9月21日湘南台公民館で行われ、来場参加だけでなくコロナ対策で3密を避けながらオンラインでライブ配信も試みました。主催は気候危機アクション藤沢と藤沢エコネット、講師は前日大生物資源科学部教授、水谷広氏（社会地球化学研究所）。

テーマ「2050 ネット・ゼロ藤沢をめざして」

藤沢市の2013年度のCO<sub>2</sub>排出量（518万トン）を基準にすると、2050年度までに556万トンを37のアクションプランで削減できれば、実質ゼロを実現できる。その気になれば、藤沢は日本のリーダーになれる。藤沢が先頭を切ってCO<sub>2</sub>ネット・ゼロをめざしてみなさん力を合わせましょと熱く語りました。

質疑では、ゴールとなる大目標「ネット・ゼロ」が重要であると同時に、中間目標の設定も必要ではないかという意見が出され、整合性のある目標設定が必要と答えられました。

また、どうやってCO<sub>2</sub>排出量を計算するのか？ 私たちの行動がどれだけCO<sub>2</sub>を出しているのか知りたい場合、どうすれば良いか？ 専門家も交えて勉強をしていましょという事になりました。

「気候危機は待たなし、未来に生きる世代のことを考えると今生きている私たちに責任を感じる」。宣言を出すだけでなく私たちは何をすべきか、宣言を出しただけで終わらず、出した後何をすべきなのか、市民に明らかにする必要があると思います。そこが明記されていたのは良かったです。「藤沢でのネット・ゼロ実現は夢ではない気になりました。「日本中、藤沢に続け！」となるような誇れる日が近々くるといいです」等の感想が寄せられました。（菅谷芳雄）

講演の様子は、YouTubeで録画配信しています。（検索：YouTube 気候危機は待たなしー修正版ー）市民講演会について藤沢市の後援を受けたことから、9/16には「2050 ネット・ゼロ藤沢」を提案している講師の水谷氏と市環境総務課との懇談を行いました。この中で、「ゼロカーボン都市」（2050年までにCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロをめざす）を表明している全国153の自治体のネットワーク設立総会が11/18に行われ、この提案が報告される予定と伝えられています。

## 「村岡新駅とまちづくりを考える会」趣旨

東海道線の藤沢駅と大船駅の間に「村岡」という新たな駅が作られようとしています。藤沢駅—大船駅、わずか4分の距離に新たな駅が必要でしょうか。この新駅構想は一度消えかかった計画です。それが武田薬品工業の研究所誘致のために、よみがえってきたのです。しかし肝心の武田薬品湘南研究所は殆ど撤退して看板も外され、いまや黒岩県知事が推進する「未病政策」の宣伝塔のような「湘南アイパーク」という看板に掛け替えられています。この建物の所有権も近々売却されるとのことです。武田薬品を誘致するために神奈川県はインベスト神奈川で59億6千万円を超える額を助成し、藤沢市は固定資産税の減免までして結局撤退です。

コロナウイルスで痛めつけられた私たちの暮らしを考えると、近接した距離に総事業費300~400億を投入する新たな駅は要りません。税金は私たちの生活支援にこそ使うべきです。(中略)

この30年ほどの間、日本は経済効率優先で目先の利益だけを追求し、保健所のような一般には見えにくい所を容赦なく削ってきました。保健所は1990年に全国で850箇所だったものが、2019年には472箇所に減らされました。また病院の感染症病床、ICUも大幅に削減されました。

感染症対策というのは蔓延する前の準備こそが大事です。今は要らないがいざというときに必要な所に税金を使うという政策が大事なのです。保健所、感染症病床のように、いざというときに必要な所にきちんと税金を使っていかなければならない。今回のことはそれを鮮明にしたのです。

私たちはコロナ禍の中で今後も苦しい生活を余儀なくされます。その中で大規模土木工事ではなく、個々の市民の生活を守っていくことこそが求められています。政府、自治体、大企業はそれを実行する責務があります。

新駅建設を中止して市民の暮らしを守り、また医療機関、介護・福祉施設、中小の工場や店舗に支援することを、私たちは神奈川県、藤沢市に求めます。

(代表 吉塚 晴夫)



## 野党共闘、強固な共闘を！

与野党どちらの読者の方もおられると思う。気候危機対策、脱原発、コロナ対策…、これらの安心できる対策をとるため、野党が何を言っても強行採決が出来てしまうような一方的な議席状況では到底期待できない。一方、野党を強くするなら共闘しかない。れいわ新選組山本太郎さんが言っていた野党共闘成立の条件、消費税5%以下、これはどうやらやっとクリアしそうになってきた。

小生も極微力ながら、2月に枝野さんに消費税5%以下をと「直訴」したりした事が少しはプラスに働いてくれたのかな、など感慨深い。小生が立憲民主党関係のSNSで消費税減税の意見を述べた時も、一部強硬な消費税必要論を唱え反論する人が目立ちかなり苦労した。党首枝野さんがこの党を消費税減税でまとめるのもっともっと苦労だったに違いない。

北欧のような高福祉高負担が活きるのは、社会保障に還元される政治があってからこそ。まずは消費税減税による野党共闘、強固な強固な共闘が必要だ。今度こそ野党は3年天下では困るんです。

自民党が強すぎる日本では、高福祉・高負担という意味で消費税必要論も考えてもいいのは、10年は安定した野党連合政権が続いた後でしょう。消費税5%以下は一致したのに、未だに両党の立憲民主とれいわ新選組が綱の引っ張り合いしてるようですが、全国で無数の有権者が、早い野党共闘成立を願っていますよ。

さて後は調整。政策のモデルは市民連合(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)が作ってくれている。

選挙のモデルはどう考える? 地元状況を踏まえた小選挙区の各党への配分。そして比例とセットでの選挙協力。たとえば、各小選挙区の統一候補が「比例は我が党をはじめとする共闘に加わる政党へ」など言ってくれば、全国の市民も野党も一丸となれるのではないですか? (内藤繁)

### 放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ( $\mu\text{Sv/h}$ ) 地上50cm			
9月17日	晴	片瀬漁港	0.024
9月24日	曇り	箱根仙石原	0.038

## コロナ禍の現状 ④



### 中小業者の状況と要求運動

湘南地域の中小業者の状況は、「コロナ禍」以前から過酷なものです。

2008年の「リーマン・ショック」による影響を受け、輸入建築資機材の高騰で建設業を経営する業者は材料や燃料の値上がりで利益を減らし、赤字覚悟の積算を迫られたり、ひとり親方では労務単価の引き下げというマイナスの話題しかありません。

小売業を経営する業者は近隣の大手量販店との価格競争に対抗できず、生活費を稼ぎだすのが精一杯になって、事業を守り安定させるには、自分や家族に外へ勤めに出て、ダブルワークをしながら、あるいは年齢が高ければ、老後の資金を取り崩したり、年金を繰り入れながら事業運用資金を、異常ともいえる状態で、調達しています。

こうした状況では、「次世代に商売を継承できない」「子どもたちには、こんな苦勞を掛ける稼業を引き継がせられない。将来はよそへ働きに出る」「自分の代でおしまいだ」と語る業者が大半です。

そこへ「コロナ禍」です。4月に政府から出された「緊急事態宣言」どおりに料飲業者は営業時間の短縮や休業に肅々と応じ、当然その間の売上は激減で、ゼロになり、国や自治体の行う給付金・協力金、特別貸付などに頼りながら商売を継続させています。

給付金申請の要求が事務所に殺到しました。オンライン申請のみですので、いわゆる「IT弱者」には厳しい仕打ち、申請を経験した会員が先頭に立ち、申請学習会などを行い、会員要求にこたえました。

こうした施策を頼れる業者はまだいいのですが、給付対象条件に該当しない業者もいて、「誰一人取り残さない」救済措置になっていないのが現実です。(前年比50%以上になっていない、家賃不動産収入など該当業種ではない等) 廃業を決めた業者でもコロナ禍以前から業績不振に悩んでいた人でした。

前述したように今日の中小業者は過酷な社会情勢にここ数十年さらされています。

多少の耐性があるのかもしれませんが、もちろん、未曾有の事態ですのでどこでどのように影響がでてるのか見当が付きません。しかし、中小業者・自営業者の強みは、業種にもよりますが、商売をやめる事があってもまた細々と再開することも継続することができ

〈低炭素都市ふじさわをめざして〉

ます。その身が存続し小さなチャンスとやる気があれば再び立ち上がることができるのが、中小業者の強みではないでしょうか。

(湘南民主商工会 東剛史郎)

## ECONET INFORMATION

### ▲「ドローンの眼」上映学習会

映画上映と久保博夫氏のお話もあります

10月18日(日) 13:30- 市民会館第二展示ホール

資料代 ¥500 予約をお願いします

主催 藤沢・9条の会 申込み 090-9239-0864

Email haruoyoshizuka61@yahoo.co.jp

### ▲ネイチャーセミナー@エコストアパパラギ

① 気候変動・海洋プラスチック問題 基礎編

10/16(金)・25(日) 10:30~12:15

② 行動しよう・一人一人ができる事 実践編

10/16(金)・25(日) 14:00~15:30

場所 エコストア・パパラギ 参加費500円

申込み 0466-50-0117・(マスク着用お願いします)

### ▲講演 追いつめられる海

講師 井田鞆治さん(共同通信社編集委員)

11/8(日)14:00-市民会館1展 参加費500円

予約制 0466-82-2036 0466-34-5843

主催：湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

### ▲武田問題対策連絡会 総会

10月26日(月)14:00- 村岡公民館

### ▲気候危機アクション藤沢 これからの活動相談会

10月9日(金)10:00- 六会公民館

連絡先 080-5099-4264

Email [kohei@papa-e.com](mailto:kohei@papa-e.com)



### ▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 10月3日(土)10:00~

六会公民館

《編集後記》コロナ禍の中、暑かった夏も終わり秋が来た。まだ自然が残っている田んぼの稲刈りも終わったようだ。うつうつと過ごしていたが、公民館活動もやっと少し緩和され、コースも10月5日から出来るようになる。高齢者の社会参加、楽しみにしている声を出して歌を歌うことが奪われていた期間は元気が出ずにいたが、水を得た魚のよう、外出がいかに大切かを実感する。(H)